

「読み語り活動」 自己評価用紙 氏名)

自己評価カード

各項目に対して、七割程度満足できていたら を付けよう。

- 1 「読み聞かせ」を聞き、内容の主な部分を聞き取れた。()
- 2 「読み聞かせ」のよき、自分なりに実感できた。()
- 3 「読み聞かせ」聞いていて、印象深い語句が二、三あった。()
- 4 「読み聞かせ」を聞き、感想や質問を意見として出すことができた。()
- 5 「意見を出す出さなにかかわらず」感想・質問・応答の内容をよく聞くことで、「読み語り」をしていくうえで参考となるもの(心構えや読み方の工夫など)を聞き取れた。()
- 6 「読み語り」の読み手となることを目指して、自分の選んだ作品を、読み深めることに意欲がわいてきた。()

自己評価カード

各項目に対して、七割程度満足できていたら を付けよう。

- 1 一人読みの時間(自分の読みの土台作りの時間)を自分なりに有効に使えた。()
- 2 自分にとって読み深めたい場面や表現を書き出すことができた。()
- 3 語感を大切にしたい語句を、自分なりに二、三箇所見つけられた。()
- 4 筆者が作品に託した思いを考え、作品の主な内容を自分なりに読み取れた。()
- 5 一人で読んだので、友達はどうなふうに読んだり感じたりするのか、聞きたくなった。()

自己評価カード

各項目に対して、七割程度満足できていたら を付けよう。

- 1 本を読み合つ中で、友達に質問したり、友達の質問に答えたりできた。()
- 2 互いに読み合つことで、友達の読みのよきや、イメージの相違に気付いた。()
- 3 一人読みの時より内容がよく分かったり、表現の仕方による効果に気付くことができた。()
- 4 「速度・語感・間・音量」に、自分なりに留意して音読することができた。()
- 5 音読する時、互いに気付いたことを話し合えた。()

自己評価カード

各項目に対して、七割程度満足できていたら を付けよう。

- 1 自分で選んだ作品のよきや筆者の思いを、初めの段階よりとらえることができた。()
- 2 1の内容を伝えるために、どこをどのように読むか自分なりの課題を決められた。()
- 3 2の活動で、次の項目に当てはまるものがあつたら を付けよう(幾つ付けてもよい)。
 - ・ 課題が具体的に出来ていなかったため、練習してさらに課題をはっきりさせたい。()
 - ・ 課題は決められたが、まだ練習不足なのでもっと練習しておきたい。()
 - ・ 練習するうちに違う課題に気付いたので付け加えて練習したい。()
- 4 友達が読むのを聞いてみて、次の項目に当てはまるものがあつたら を付けよう(幾つ付けてもよい)。
 - ・ 友達の課題点について注意して聞くことができた。()
 - ・ 注意して聞きながら、よかつた点や努力している点を友達に伝えることができた。()
 - ・ 友達の読み方や課題点が自分の読みの参考になった。()
 - ・ 保育園に行く前に、練習をして、また友達に聞いてもらおうと思った。()
- 5 今日までの活動を通じて、自分なりの読み方を大切にしたり、自分の読みに自信をもつことが大切だと感じた。()